



鷲野 聰明 議員

愛西市「子ども議会」の開催を

**問** 愛西市自治基本条例が施行され、その中には、市は青少年等がまちづくりへ参加する権利を保障しますとある。感性豊かな将来を担う若い世代の声を、子ども議会の開催で市政の施策に反映できれば、より魅力のあるまちづくりに役立つのではないかと。市の方針は。

**企画政策部長** 次世代を担う若者がまちづくりに参画してもらうことは大変意義がある。一つの手法として取り入れるべく、亀岡市議会において実施された内容を含め、先進地事例を調査・研究していく。こちらでは推進するような方向で考えたい。

**市長** 政治に関心を持っていただくためには、議員の力も非常に大きなものがある。我々としても取り組める部分については、積極的に取り組んでいかなければならないと考えている。

全市街路灯LED化計画は

**問** LED照明は一般的に省エネで長寿命と認識されており、時代に即した対応であると感じる。全市街路灯LED化計画の概要と費用対効果、スケジュール等について尋ねる。

**市民協働部長** 防犯灯のLED化事業は、市内に約7千200灯、そのうち市の管理が800灯、町内管理が約6千400灯。市内の防犯灯の約2%程度しかLED化されていないのが現状。そこで平成28・29年度の2力年で環境に配慮した低炭素社会への寄与、消費電力の削減などを目的に、市及び町内管理の防犯灯約7千200灯のLED化計画を考えたい。LED化後の電気料金は、試算で約60%が削減される予定。また土木課管理の道路照明灯(約1千灯)もそれに組み込むことでスケールメリットを出していきたいと考え、合計8千200灯を対象とする。平成29年度に取りかえ工事を行い、29年度から39年度にLED防犯灯等のリース事業を実施、事業費は予算ベースで2億5千21万5千円。

**その他の質問**  
・使用料見直しパブ  
コメの結果分析は



大野 則男 議員

窓口業務の「見る」大切さ

**問** 新館の窓口業務の考え方を問う。受付の位置・職員の位置が、市民が正面玄関を入ると、相対で職員は配列されており、受付は職員側を向いている。常に市民を職員が見る作業をしやすい様に考えるべきだ。

南館の1階に多くの市民に来庁してもらうための活用の考えは。また、支所整備での、雨水利用の考えは。

**総務部長** 職員の対応次第で市役所のイメージは大きく変わる。限られたスペースに職員を効率よく配置するために、システムデスクを採用したため、窓口側を向く配置はできない。総合受付も含め適切な対応に心がける。

南館1階は、市民ラウンジ、情報コーナーとして利用してもらうため、



▲窓口の様子